

最新の技術・製品情報をお届けします



車両



バンラデシュ初の都市高速鉄道となる ダッカMRT6号線向け車両および車両基地設備を受注

川崎重工と三菱商事株式会社(以下、三菱商事)は共同で、バンラデシュのダッカ都市交通会社(Dhaka Mass Transit Company Limited:以下、DMTCL)から同国初となる都市高速鉄道(以下、MRT)6号線向け車両144両および車両基地設備を受注しました。契約総額は約400億円です。

本契約において、川崎重工はプロジェクト全般管理、車両および主な車両基地設備の設計・製造・試験・納入整備・トレーニング・輸送等に加え、DMTCLが実施する車両および車両基地設備の保守業務の支援を担当し、三菱商事は商務事項の管理、ならびに一部車両基地設備の供給を担当します。

今回供給する車両は、軽量・高耐久性を特長とするステンレス製車両で、室内用CCTVカメラに加え、ワンマン運転時に乗降客やプラット

フォームの状況を確認するための車外CCTVカメラを装備し、客室内の乗客だけでなく、乗降客やプラットフォーム上の安全にも配慮した設計を採用します。また、大容量空調装置を1両につき2台搭載し、高温多湿の現地環境においても快適な車内環境を実現します。

バンラデシュ初のMRTである6号線は、道路交通からの交通手段の転換を促し、渋滞緩和による都市利便性の向上、経済損失の解消、さらに温室効果ガスの削減に資すると期待されています。また、現在ダッカでは6号線以外のMRT建設も計画中であり、経済発展と都市化の進展により、今後MRT車両の需要が継続的に増加することが期待されています。



ダッカMRT6号線車両のイメージ



契約調印式の様子。川崎重工・小河原誠(写真左、常務取締役 車両カンパニープレジデント)、DMTCL・Md. Aftabuddin Talukder (Managing Director)。



ガスタービン・機械

タイ向けに「カワサキグリーンガスエンジン」3基を受注

川崎重工は、シンガポールのジュロン・エンジニアリング社(Jurong Engineering Ltd.、以下JE社)より、タイの発電事業であるパークプライ・コージェネレーション・プロジェクト向けに「カワサキグリーンガスエンジン」(以下、ガスエンジン)3基を受注しました。

パークプライ・コージェネレーション・プロジェクトは、タイの電源計画Small Power Producer (SPP) プログラム(*)において、同国の発電事業者であるパークプライ・コージェネレーション社(Berkprai Cogeneration Co., Ltd.)が、世界的にも珍しいガスエンジンとガスタービンのハイブリッドコンバインドサイクルを採用した出力100MW級の発電所を新設するものです。本発電所は、ガスエンジンとガスタービンの特性を活かし、昼夜の電力需要量に対して効率的に発電できるとともに、環境性に優れた発電設備のモデルケースとして期待されています。

*Small Power Producer (SPP) プログラム:タイ政府が、小規模事業者への奨励を通じ、在来電源の副産物や再生エネルギーを活用してエネルギー利用効率を上げること、および石油輸入・使用の削減を図ることを目的として1992年に創設したプログラム。



INFORMATION

10月からコミュニケーションメッセージ 「カワる、サキへ。Changing forward」を発信

川崎重工は2017年10月より、「カワる、サキへ。Changing forward」を新しいコミュニケーションメッセージとして発信しています。

「カワる、サキへ。Changing forward」は、グループミッション「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」を実現するための、社会に向けたメッセージです。川崎重工が多様なお客様の要望にお応えし、独自性・革新性のある製品やサービスで、「社会がカワる、その一歩サキへいく。」というメッセージと、変化を恐れず積極的に挑戦していく「自分たちがカワっていく、サキに向かって挑戦する」という想いを表現しています。

今後は、本メッセージを幅広く発信するため、まずは2つのテレビ番組で新CMを放映します。新CMは、ガスタービンとガスエンジン、産業用ロボットを題材とし、幅広い層に川崎重工の製品・サービスの社会的役割を訴求しています。さらに当社グループウェブサイトでもスペシャルサイトを開設し、CM内容の解説やメイキング映像なども公開します。



【テレビCM番組放映】(2017年10月~2018年3月)

■TBS系列 毎週日曜 18:30~19:00 「バナナマンのせっかくグルメ!!」

■テレビ東京系列 毎週月曜 22:00~22:54 「未来世紀ジパング」

「カワる、サキへ。」スペシャルサイト

<http://www.khi.co.jp/stories/feature/kawarusaki/>

公式SNSアカウント、公開中!

<https://www.facebook.com/japan.kawasaki/>

<https://www.linkedin.com/company/83150/>



「Kawasaki地球環境ビジョン2050」を策定

~3つのフリー (CO₂・廃棄物・有害化学物質) へ挑戦~

川崎重工は、持続可能な社会の実現に向けて、「CO₂ FREE」「Waste FREE」「Harm FREE」を柱とした「Kawasaki地球環境ビジョン2050」を策定しました。川崎重工グループの新たな長期ビジョンとして、2050年に向け環境経営を一層進めていきます。

川崎重工グループは、1994年に環境管理体制の導入へ向けた第1次環境経営活動基本計画を策定して以来、環境経営を推進してきました。現在ではその対象範囲は、事業活動での環境負荷低減のみならず、Kawasakiグリーン製品に代表される低環境負荷製品の開発・販売や、将来の水素エネルギー機器などのCO₂フリー製品開発への積極的な取り組みなどにより、顧客による製品使用時の環境負荷低減にまで広がっています。

現在川崎重工グループは、「環境ビジョン2020」を指針とする取り組みを順調に進めていますが、一方で地球温暖化対策はますますその必要性を増しています。このような背景から、「環境

ビジョン2020」の基本的な着眼点は踏襲しながら、CO₂排出量や廃棄物のゼロ化など、より高いハードルとなる「Kawasaki地球環境ビジョン2050」をこのたび策定しました。具体的な内容は以下のとおりです。

CO₂FREE

- 事業活動でもCO₂排出0(ゼロ)をめざしていく
- CO₂排出を大きく抑制する製品・サービスを提供する

WasteFREE

- 事業活動での廃棄物0(ゼロ)をめざしていく
- 水資源の保全・リサイクルを徹底する

HarmFREE

- 事業活動での有害化学物質排出0(ゼロ)をめざしていく
- 生物多様性を尊重した事業展開を行う



*活動マーク: [将来への手紙]をイメージして、3つのチャレンジをデザイン